

## 2023年度(第27回)定時総会を開催

### ラムサス工法協会

ラムサス工法協会((公社)日本推進技術協会:特別会員、会長:木村誠司・名工建設(株)執行役員名古屋支店長)は5月24日アイリス愛知(名古屋市中区丸の内)において2023年度(第27回)定時総会および懇親会を開催した。

総会の冒頭、木村会長は「新型コロナウイルスの感染症法の分類が5類となり、当協会の総会も今年度から参集方式を再開することができたことは大変喜ばしいこと」としながらも

感染症が収束してはいないので適切な感染対策を実施しながら協会活動を活性化させていきたい」と語り「当協会の強みであるARやICT技術を活用した遠隔操作技術などDX技術は他の推進工法協会より一歩先んじている。これらの技術で建設従事者の減少を食い止め、技術の継承を促進していきたい。さらに年間施工延長が減少するなかではあるが、浸水対策など推進技術にはまだまだ活躍する場はあると考える。会員各社一致団結して工法のさらなる普及と発展に寄与していただきたい」とあいさつを結んだ。

議事では、広報活動として下水道展'23札幌(8月1日~4日、札幌ドーム)への出展をはじめ業界誌などへの記事の投稿および広告掲載の実施や動画共有サイト、協会Webサイトなどを活用した工法普及活動の展開の実施。計画開発事業では「ラムサス-S曲線施工時の管内測量機器開発および改良」「ラムサスシリーズ(ラムサス工法、ラムサス-S工法、ラムサスSDシールド工法、ラムサス改築工法、スマート屎工法)の設計および適用範囲拡大のための改良」などの実施。また、施工品質向上、技術のレベルアップを図るための技術講習会の開催などの活動計画を盛り込んだ2023年度の事業計画が示され満場一致で可決承認された。



▲「推進業界の先頭立って業界を牽引できるよう、協会活動を充実させていきたい」とあいさつする木村会長



▲中部地方整備局におけるi-Construction/DX推進について講演する近藤情報・施工高度化技術調整官

び適用範囲拡大のための改良」などの実施。また、施工品質向上、技術のレベルアップを図るための技術講習会の開催などの活動計画を盛り込んだ2023年度の事業計画が示され満場一致で可決承認された。

2022年の優良表彰では、名古屋市発注の「第3次ほのか雨水調整池流入管下水道築造工事」において名工建設(株)第3次ほのか雨水作業所と福岡市発注の「福工大前・九産大前間68k216付近雨水管新設工事」において(株)エントプラ唐の原作業所が選出され、それぞれに木村会長から表彰状と記念品が授与された。

総会後の特別講演では近藤弘司・国土交通省中部地方整備局企画部建設情報・施工高度化技術調整官が「中部地方整備局におけるi-Construction/DX推進について」と題し、i-Constructionや建設業におけるDX推進にむけた現状と課題と国土交通省の取り組みなどについて最新の資料を基に講演した。

## 令和5年度定時総会懇親会を開催

### アパッチ工法協会

アパッチ工法協会(会長:安田京一・ヤスダエンジニアリング(株)代表取締役)は5月26日、ホテルモントレ・グラスミア大阪(大阪市浪速区)において令和5年度定時総会および懇親会を開催した。



▲推進工事の自動運転実現に意欲を示す安田会長

総会では安田会長が「推進業界は慢性的な人員不足に陥っており、人員の確保と育成が喫緊の課題。また、年間施工延長が減少をつづけるなか、どのようにして技術を維持し、次世代に継承していくかが大きな課題」と「外国人の雇用やリクルート活動とその後の人材育成プログラムの抜本的な改革が必要」と語った。さらに推進延長が減少していることについて「浸水対策では、雨水貯留施設や雨水幹線などのネットワーク化には当工法の長距離・曲線技術や既設構造物への直接到達技術などが最適である。これらの強みを設計コンサルタントや

発注者にPRしてさらなる工法の普及発展に寄与したい」と今年度の抱負を語った。

議事では、下水道展'23札幌（8月1日～4日、札幌ドーム）への出展や役所・コンサルタントへの営業活動、研究発表会、技術研修会、現場見学会などでアパッチ工法の普及活動を示した事務局活動方針とアパッチ工法採用数アップを目指したスピーディーで丁寧な設計・積算などの活動方針を示した令和5年度事業計画が満場一致で可決承認された。

### 第36回定期総会および懇親会を開催

#### （公社）日本推進技術協会

（公社）日本推進技術協会（会長：中野正明・機動建設工業㈱代表取締役社長）が5月25日（木）にホテル・ルポール麹町（東京・平河町）で第36回定時社員総会および懇親会を開催した。

総会の開会冒頭のあいさつで中野会長は「2011年4月の公益社団法人に認定時の公約（①官と民の間に立ち、民の窓口として意見を伝える②財政基盤の改善を行う③推進技術を海外に展開）を掲げ、それぞれで成果をもたらしてきた。しかしこの3年間は新型コロナウ

イルス感染症拡大の影響もあり、海外案件の遅延が目立つ状況ではあったが、ここにきて前進する気配がある。普及活動においてもWEBを併用してアジア版の推進技術の規格基準の普及活動に取り組んできた。昨年5月



▲ 今年度の抱負を語る中野会長



▲ 来賓のあいさつをする松原部長



▲ 乾杯の発声をする岡久理事長

には人材育成も兼ね、バンドン工科大学（インドネシア）で学生向けに推進技術のセミナーを開催した。また、インフラはマネジメントの時代に入出し、時代に即した技術開発の支援・普及を行っていききたい。さらに推進工法の市場を拡大する必要がある、再整備に寄与する技術開発が急務。また、アンダーパスなどへの推進工法の適用も提案していききたい。特定技能外国人の認定ではJAC（（一社）建設技能人材機構）と連携し新たな人材の受け入れ窓口としての役割を担っていかなければならない。そのためには協会として適正な基準や指針を示していく」と今年度の活動方針を示した。

懇親会では来賓のあいさつで松原誠・国土交通省水管理・国土保全局下水道部長が「政府が掲げる国土強靱化の実現には下水道部は様々な施策を示している。そのうちの浸水対策については推進工法が大きな役割を担っている」と期待を語った。

乾杯の発声で岡久宏史・（公社）日本下水道協会理事長は「下水道はまさにマネジメントの時代に入入している。それに向けDXやGXなど新たな技術開発が求められている。推進技術でもAIを導入するなど新たなビジネス展開を期待している」と語った。

また、任期満了に伴う役員改選では、新任4名を含む17名の理事と、新任1名を含む2名の監事が選任された。

#### 役員名簿（2023年5月25日現在）

|      |       |                               |
|------|-------|-------------------------------|
| 会 長  | 中野正明  | 機動建設工業㈱代表取締役社長                |
| 副会長  | 中谷泰之※ | ㈱奥村組執行役員土木本部長                 |
|      | 中西俊博  | ㈱イセキ開発工機取締役社長                 |
| 専務理事 | 横田敏宏  | （公社）日本推進技術協会                  |
| 理 事  | 飯田敏昭  | アイレック技建㈱代表取締役社長               |
|      | 請川誠   | 戸田建設㈱常務執行役員土木技術統轄部統轄部長        |
|      | 小坂浩   | 大豊建設㈱土木本部土木営業部部长              |
|      | 杉山浩司※ | 青木あすなろ建設㈱東京土木本店営業第一部長         |
|      | 瀬谷藤夫※ | ㈱常磐ボーリング代表取締役                 |
|      | 戸梶直人  | 五洋建設㈱土木営業本部副本部長兼第二営業部長        |
|      | 中川喜久治 | 中川ヒューム管工業㈱取締役社長               |
|      | 中嶋光祥※ | 三井住友建設㈱執行役員土木本部副本部長           |
|      | 長尾達児  | 鉄建建設㈱執行役員土木本部副本部長兼土木設計部長      |
|      | 南野利明  | 南野建設㈱代表取締役社長                  |
|      | 向井達典  | りんかい産業建設㈱取締役常務執行役員事業統括本部土木本部長 |
|      | 安田京一  | ヤスダエンジニアリング㈱代表取締役             |
|      | 山崎晶※  | ㈱熊谷組国際本部常務執行役員本部長             |
|      | 高橋克彦※ | 日特建設㈱常務執行役員安全環境品質本部長          |
| 監 事  | 宮地秀将  | 地建興業㈱代表取締役社長                  |

※は新任